

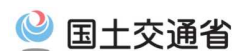
事務局説明資料

令和元年8月29日
国土交通省 都市局



Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

目次



1. ストリートデザイン懇談会をめぐる背景

2. これからのストリートに必要な要素とは

- (1) ストリート＝街路空間をどう定義するか
- (2) 街路空間のデザイン・有すべき設えについて
- (3) アクティビティと、これを担い支えるプレーヤーについて
- (4) これらの空間を支える交通環境等の確保について

3. 主な論点

【コア委員】

泉山 墨威 東京大学先端科学技術研究センター 助教

岸井 隆幸 日本大学 特任教授（座長）

小嶋 文 埼玉大学大学院理工学研究科 准教授

西村 亮彦 国土館大学理工学部 講師

藤村 龍至 東京藝術大学 准教授（副座長）

三浦 詩乃 横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院 助教

【オブザーバー】

東京都、神戸市、姫路市、（独）都市再生機構、警察庁

【関係部局】

道路局

【事務局】

国土交通省都市局

1. 背景

1)世界で進む、都市の「ウォークシフト」～

2)ウォークシフトの考え方への進化

3)国内におけるウォークシフトの高まり

4)ウォークシフトに向けた政策展開



Before

タイムズ・スクエアの
歩行者数は11%増加。

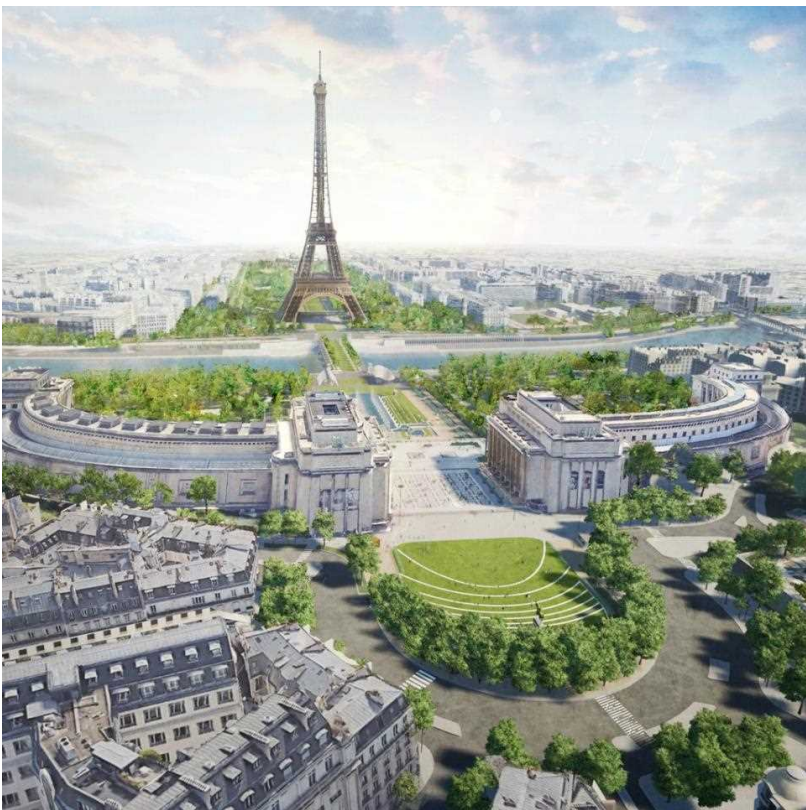
74%の市民が
タイムズ・スクエアは
劇的に改善されたと回答

3年目の売上増加率が
+47%を記録した地域も

After



パリ エッフェル塔周辺の構想



エッフェル塔の周辺の車道を緑地広場
にする計画が進行中（完成目標
2024年）

チケット売り場やキオスクは、エッフェル塔
の地下に埋められ、景観を損なわない
ような配慮もされる。

（出典）エッフェル塔の周囲から自動車を排除して歩行者専用の広大な庭園を造る計画が
発表される
<https://gigazine.net/news/20190523-new-eiffel-tower-park-plan/>



鉄道開通予定に合わせ歩行者空間化予定（2019年12月末）

- ・自転車の走行は禁止
- ・周辺には自転車専用レーンやタクシー乗場の設置が検討
- ・ストリートファニチャー（50mごとにベンチを設置する、パブリックアートの空間をつくる等）も一新

（出典） Have your say on the transformation of Oxford Street
https://consultations.tfl.gov.uk/roads/oxford-street/user_uploads/oxford-street-consultation-report.pdf

1. 背景

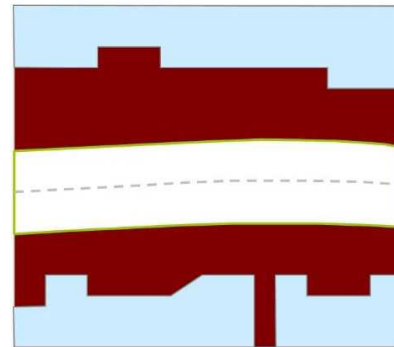
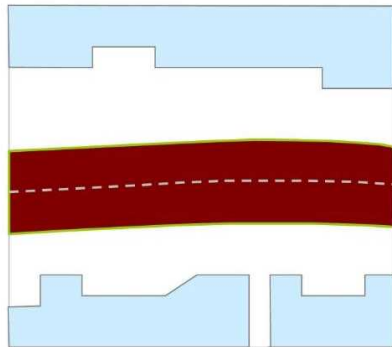
1) 世界で進む、都市の「ウォークシフト」～

2) ウォークシフトの考え方への進化～リンク&プレイス

3) 国内におけるウォークシフトの高まり

4) ウォークシフトに向けた政策展開

	リンク＝交通 移動するための 「導管」としての ストリート 設計目的： 時間を短縮		プレイス＝空間 それ自身が 「目的地」となる ストリート 設計目的： 時間を過ごす
---	--	--	--



'LINK' AND 'PLACE': A NEW APPROACH TO STREET PLANNING AND DESIGN
Peter Jones, Centre for Transport Studies, UCL, London より抄訳

リンク＆プレイスとしてのストリート

「リンク」としてのストリートの使われ方

様々な手段による移動:

- 自家用車、貨物車
- 公共交通
- 自転車
- 歩行者

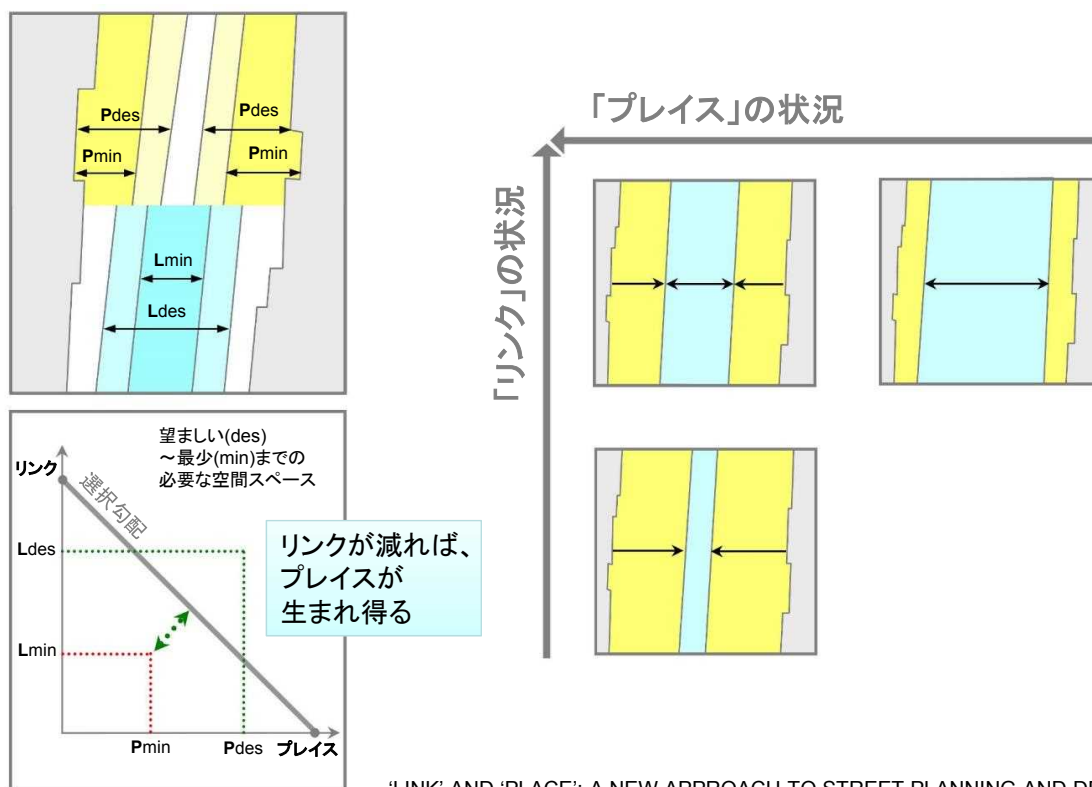


要は「人々の移動」

「プレイス」としてのストリートの使われ方

- 人々が立って、座って、観光して、
買い物して、商売して...
- パフォーマンス、パレード、
デモンストレーション...
- + クルマに関する活動としては
 - 駐車
 - 荷捌き

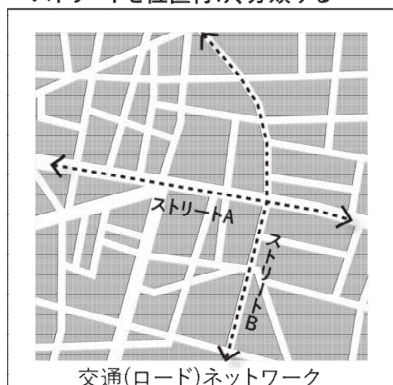
'LINK' AND 'PLACE': A NEW APPROACH TO STREET PLANNING AND DESIGN
Peter Jones, Centre for Transport Studies, UCL, London より抄訳



‘LINK’ AND ‘PLACE’: A NEW APPROACH TO STREET PLANNING AND DESIGN
Peter Jones, Centre for Transport Studies, UCL, London より抄訳

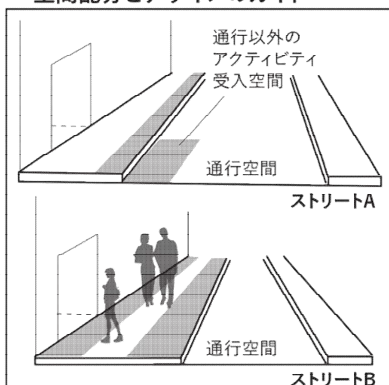
ストリートの空間を再配分するプロセス

① 交通ネットワーク内でストリートを位置付け、分類する



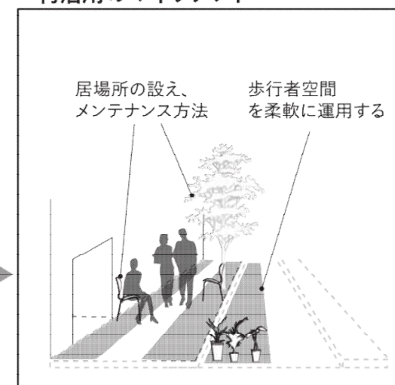
交通ネットワーク内で、通行以外の空間への本源需要を見出し、ゾーニングする。交通データだけでなく、沿道の建物用途やアメニティ、市民意見を判断材料とする。

② 位置付けられたストリートの空間配分とデザインのガイド



沿道の都市活動の活性化に寄与する通行空間の公共交通・自転車優先のデザイン、通行以外のアクティビティ受入空間のデザインのバタンを示唆する。

③ 歩行者空間の設えや利活用のマネジメント



歩行者のアクティビティを活性化させる現場のノウハウを示す。空間の質の診断や、マネジメントの担い手の人材育成にも対応する。

1. 背景

1)世界で進む、都市の「ウォークシフト」～

2)ウォークシフトの考え方への進化

3)国内におけるウォークシフトの高まり

4)ウォークシフトに向けた政策展開

東京 丸の内仲通り



Before

・2019年5月、100時間
連続で丸の内仲通りを歩
行者空間化し芝生を敷設

After



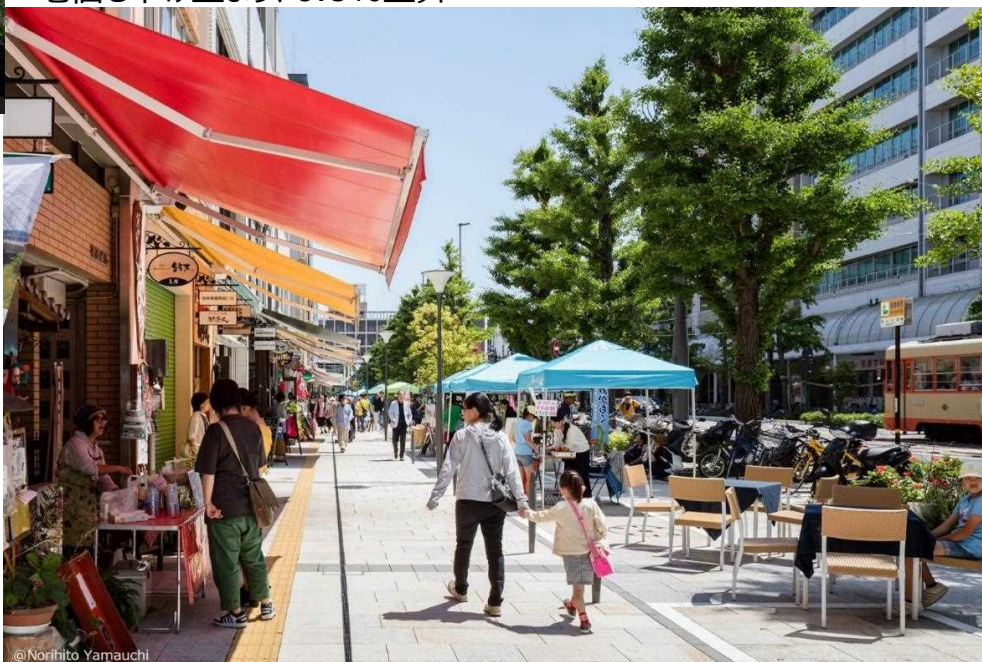


Before

- ・車道を片側3→1車線に縮め、歩道を拡幅。
- ・歩道から自転車道を分離
- ・アーケードを撤去し、統一したデザインでファサード整備

After

- ・歩行者通行量が3千人から5.5千人へ増加。
- ・地価も下げ止まり、0.8%上昇



姫路駅北駅前広場



Before

- ・車道中心だった駅前空間をトランジットモール化、歩行者空間・芝生化し、民間の様々なイベントの展開やインバウンド増と相まって多様な人材が集う空間へ転換

After

- ・周辺におけるホテル、マンション建設が活発化し、駅周辺の商業地地価は25%上昇（H 3 1：全国7位）、商業床面積も増加



官民合同による「桜町・花畑地区まちづくりマネジメント検討委員会」を設置、桜町・花畑地区の一体的な利活用・デザインについて検討。



(出典) 熊本市提供資料

福山市福山駅前の構想

駅前商業施設の閉店により空洞化した中心市街地を、「福山駅前再生ビジョン」を掲げ、エリア再生の取組まれている。



(出典) 福山市「福山駅前再生ビジョン」

1. 背景

1)世界で進む、都市の「ワークシフト」～

2)ワークシフトの考え方への進化

3)国内におけるワークシフトの高まり

4)ワークシフトに向けた政策展開

都市の多様性とイノベーションの創出に関する懇談会 国土交通省



・座長：東京大学浅見教授（住宅・都市解析）、座長代理：東北芸術工科大学馬場教授（リノベーション）
ほか委員 6 名 + 東京都、大阪市、名古屋市、経団連、不動協、U R 等と関係省庁（内閣府等）
・平成31年2月～全 8 回にわたり、都市の魅力・国際競争力やイノベーションから、女性や高齢者等の活躍、孤独、子育てまで多分野のゲスト委員計 15 名を招へいし、今後のまちづくりの方向性を議論

- コンパクト・プラス・ネットワーク等の都市再生の取組をさらに進化させ、官民のパブリック空間をウォーカブルな人中心の空間へ転換し、民間投資と共鳴しながら「居心地が良く歩きたくなるまちなか」を形成
- これにより、多様な人々の出会い・交流を通じたイノベーションの創出や人間中心の豊かな生活を実現し、まちの魅力・磁力・国際競争力の向上が内外の多様な人材、関係人口を更に惹きつける好循環が確立された都市を構築

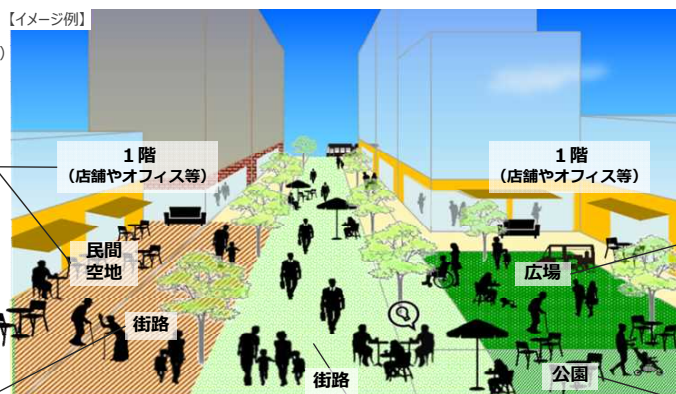
「居心地が良く歩きたくなるまちなか」からはじまる都市の再生

「居心地が良く歩きたくなるまちなか」のイメージ

1階をガラス張りの店舗にリノベーションし、アクティビティを可視化
民間敷地の一部を広場化 (宮崎県日南市)



【イメージ例】



2つの開発の調整により
一帯整備された神社と森 (東京都中央区)



駅前のトランジットモール化と広場創出 (兵庫県姫路市)



道路を占用した夜間オープンカフェ (福岡県北九州市)



公園を芝生や民間カフェ設置で再生 (東京都豊島区)

Walkable

歩きたくなる

Eye level

まちに開かれた1階

Diversity

多様な人の多様な用途、使い方

Open

開かれた空間が心地よい

※地域特性に応じた取組を、歩ける範囲のエリアで集中的あるいは段階的に推進
※人口規模の大小等を問わず、その特性に応じた手法で実施可能



「居心地が良く歩きたくなるまちなか」

Walkable

歩きたくなる

居心地が良い、人中心の空間を創ると、まちに出かけたくなる、歩きたくなる。

Eye level

まちに開かれた 1 階

歩行者目線の 1 階部分等に店舗やラバがあり、ガラス張りで見え、人は歩いて楽しくなる。

Diversity

多様な人の多様な用途、使い方

多様な人々の多様な交流は、空間の多様な用途、使い方の共存から生まれる。

Open

開かれた空間が心地よい

歩道や公園に、芝生やカフェ、椅子があると、そこに居たくなる、留まりたくなる。

都市構造の改変等

- **都市構造の改変**（通過交通をまちなか外へ誘導するための外周街路整備等）
- 都市機能や居住機能の **戦略的誘導と地域公共交通ネットワークの形成**
- **拠点と周辺エリアの有機的連携**
- **データ基盤の整備**（人流・交通流、都市活動等に係るデータプラットフォームの構築等） 等

2. これからのストリートに必要な要素とは

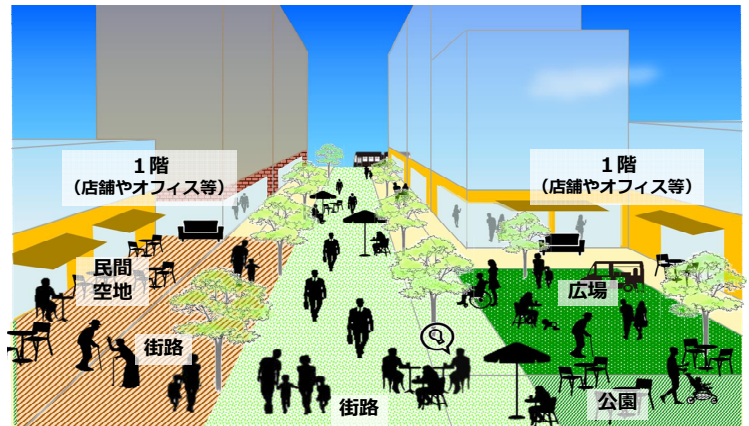
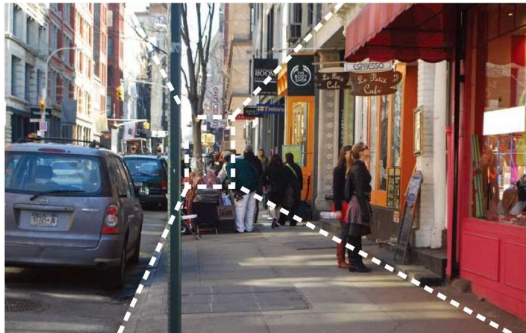
1) ストリート＝街路空間をどう定義するか

2) 街路空間のデザイン・有すべき設えについて

3) アクティビティと、これを担い支えるプレーヤー

4) これらの空間を支える交通環境等の確保

- 例えば、ニューヨークでは歩道を「the sidewalk room」と呼ぶ4面から成る空間と捉えており、沿道の建物や土地利用も含めて、街路を構成する要素としている
- 本懇談会においても、街路空間を中心に、周辺の広場空間や公開空地、沿道建物等も含めた、一体的な空間を「ストリート」と定義し、そのあり方を議論していきたい。



都市の多様性とイノベーションの創出に関する懇談会資料より

ACTIVE DESIGN - SHAPING THE SIDEWALK EXPERIENCE
(ニューヨーク市都市計画局, 2013)より抜粋

2. これからのストリートに必要な要素とは

1) ストリート＝街路空間をどう定義するか

2) 街路空間のデザイン・有すべき設えについて

3) アクティビティと、これを担い支えるプレーヤー

4) これらの空間を支える交通環境等の確保

- 事例(松山市 花園町通り)



街路空間と沿道建物との関係性を惹起するデザイン

- 【例として、松山市花園町通りの設えの部分詳細図と写真】



左から 排水・給水・散水
(水やり用)の設備



ウッドデッキの広場とベンチ

ベンチが置かれた空間は憩いや語らいの場となる



イベント用の電源設備

2. これからのストリートに必要な要素とは

1) ストリート＝街路空間をどう定義するか

2) 街路空間のデザイン・有すべき設えについて

3) アクティビティと、これを担い支えるプレーヤー

4) これらの空間を支える交通環境等の確保

(3) 街路空間におけるアクティビティについて

- ・ アクティビティのタイプは、「必要活動」「任意活動」「社会活動」に分類できるとされている（Life Between Buildings, Jan Gehl (1987)）。
- ・ 我が国の研究では社会活動をさらに「地域生活活動」「地域文化活動」「表現活動」に区分しているものもあるところ、様々なアクティビティの存在を前提に検討することが重要。

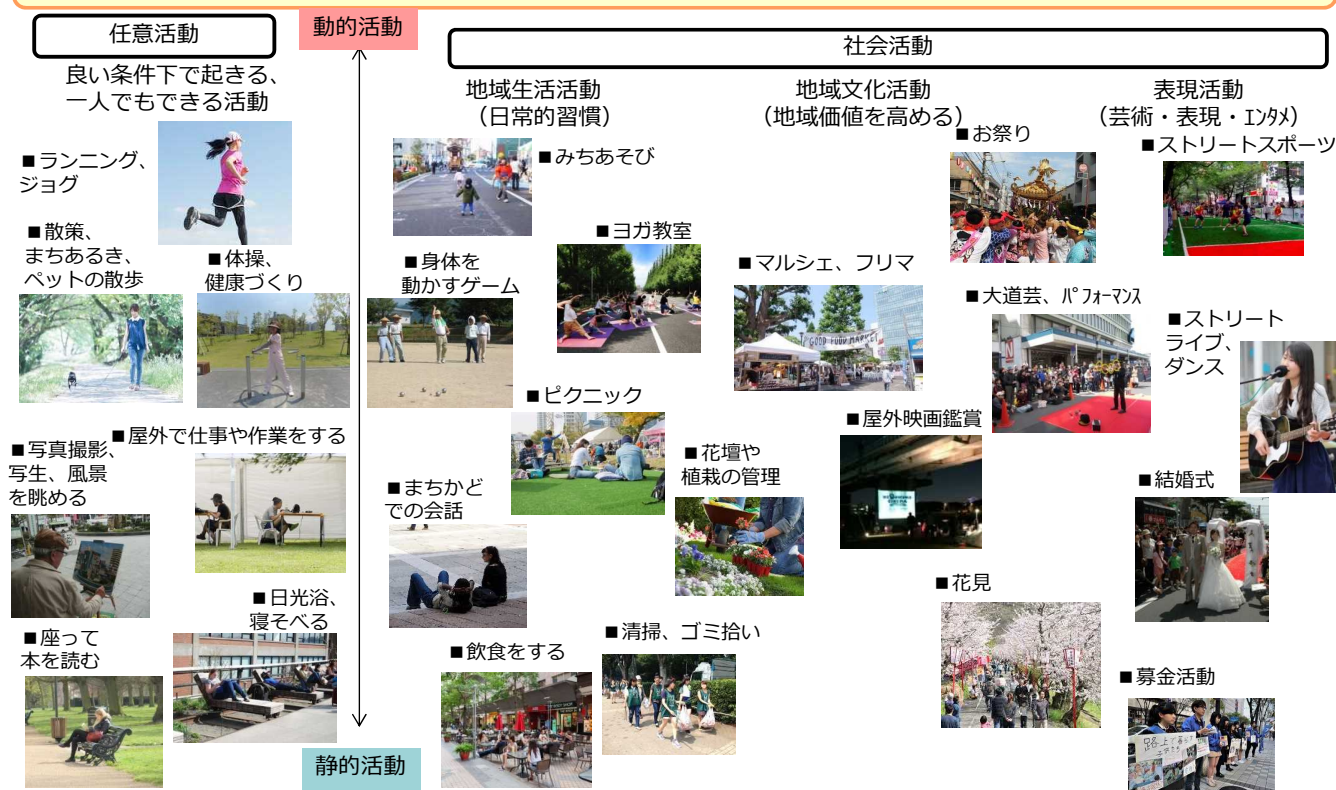
アクティビティタイプ	内容	具体例
必要活動	沿道などの目的地で目的を果たすための移動や立ち止まり	通勤、バス待ち、移動時の休憩、買い物
任意活動	来街者一人であっても楽しめる、地域やストリート景観、自然、雰囲気を感じながらの遊歩、運動、滞在	散歩、まち歩き、ランニング、写真撮影
社会活動	街路上に複数の利用者が存在することによるコミュニケーションや出会いに基づく活動	遊び、来街者と住民の会話、生活風景を眺める
地域生活活動	社会活動のうち、特に沿道コミュニティの住民・店主等による日常的慣習としての活動	清掃、挨拶、井戸端会議、植栽の世話、見回り
地域文化活動	社会活動のうち、特に地域性のある祭りなど、地域価値を高める目的で組織的に行う活動	祭り、街路市、打ち水、フリーマーケット
表現活動	社会活動のうち、特に芸術的・政治的な表現・言論、エンターテインメント性の高い活動	演奏、演説、大道芸、フラッシュモブ、パレード、募金

(出典：ストリートデザイン・マネジメント)

(2) 街路空間におけるアクティビティ

- ・ ストリートにおけるアクティビティを、タイプとアクティビティの活動量（動的・静的）に応じて例示していくと以下のようになり、これらの多様なアクティビティを踏まえたストリートのあり方が重要

※前述の「ストリートデザイン・マネジメント」に例示された活動のほか事例等をもとに例示



(2) プレイヤー

- ・ まちに変化を起こし、それを継続させるためには、プロジェクトを担う多彩なメンバーが必要とされている。

エリアリノベーションに必要なキャラクター



(出典: エリアリノベーション 変化の構造とローカライズ (馬場正尊+OpenA))

8 よいプロジェクト・チームには、多彩なメンバーが求められる

プロジェクトは、定常業務と異なり、そのつどユニークな成果が求められる事業である。したがって、前例や慣行にとらわれる人だとなぎつぎに生じてくる新たな事態に対応することはできない。プロジェクトが遭遇する事態は多様であるから、そうした多様な課題に答えられる多彩なメンバーをチームに入れる必要がある。同じような思考パターンと知識、情報をもつメンバーがいくらいても、事態を多角的に検討することはできない。したがって、メンバーはできるだけバラエティに富み、経験や知識、専門分野の異なる人材を求めるべきである。さらに、困難な事態に対応するためにも、チームは個性的な人材の集団であるべきである。

メンバーは、明確な役割分担の設定によってそれぞれの個性、能力を発揮し、困難な事態においては、たがいに力を合わせて難局に対応することができる。なぜなら、こうしたメンバーは、プロジェクトの達成すべきミッションをしっかりと共有し、それに向かってなすべきことを心得ているからである。

すなわち、すぐれたプロジェクト・チームは、メンバーそれぞれの強い意志や目標達成のモチベーションに支えられている。また、メンバーは目標を達成しようという情熱も共有する。そのために、なにをなすべきかということについてのコミュニケーションがつねにとれる体制を保つ必要がある。

(出典: 社会的合意形成のプロジェクトマネジメント(桑子敏雄 著))

2. これからのストリートに必要な要素とは

1) ストリート＝街路空間をどう定義するか

2) 街路空間のデザイン・有すべき設えについて

3) アクティビティと、これを担い支えるプレーヤー

4) これらの空間を支える交通環境等の確保

(4) ストリートを支える交通環境等の重要性

- ・ ストリートのプレイス機能が確保されるためには、円滑な都市交通が損なわれないよう、交通の観点からの検討と、必要な周辺交通環境の対応が重要
- ・ また、通過交通のみならず、地域の荷捌きや駐車需要への対応も必要。

周辺の交通処理（事例：大手前通り 兵庫県姫路市）



出典：姫路市HP



- ・ 姫路駅を中心とする3環状10放射の幹線道路網により、通過交通を分散
- ・ さらに姫路駅を中心とした約500m四方に内々環状道路を整備
内環状のさらに内側に内々環状をつくることで駅前トランジットモール(一般車の通行禁止)が可能に

荷捌き需要への対応



- ・ 例えば、円滑なストリート空間を確保するため、集約荷捌き駐車場を整備することで、路上荷さばきを低減させるような、交通面の対応も検討することが必要。

3. 主な論点

3. 主な論点(案)

問題意識

各都市において、ストリートの改変に踏み出そうとした際に、例えば、

- ① 意義及び効果 ～ ストリートの改変の必要性や、それが生み出す多面的な影響、
 - ② 構成要素 ～ 沿道や周辺環境を踏まえた望ましいデザインや設え、
ストリートにおけるアクティビティや、これを担うプレイヤーのあり方、
 - ③ 交通ネットワーク ～ 各街路それぞれの位置付けから、外周街路の活用をはじめ
交通再配分の考え方、駐車場の配置や出入口のあり方、
- 等について、一定の取りまとまったリソースが乏しく、模索を繰り返しているのが現状。

このようなことから、庁内での機運醸成から、庁内調整、さらには関係機関協議等において、アドホックな対応に苦慮している状況。

主な論点

- 1) ストリートを人間中心の空間へリノベーションしていく意義と効果とは？
- 2) ストリートの空間デザインや設えはどうあるべきか？
- 3) どのようなアクティビティを、どう運営していくべきか？
- 4) どうプレイヤーを選び、育て、支え、つなげていくべきか？
- 5) ストリートを支える交通環境をどのように考えるべきか？

主に地方公共団体向けのガイドラインとして、参考となる考え方や手順等を取りまとめていく予定

	テーマ	プレゼンター	日時
	—総論—		
第1回	これからのストリートに 求められるもの	事務局、三浦委員、泉山委員	8月29日(金) 13:00-15:00
	—使う—		
第2回	都市生活を豊かにする アクティビティ	泉英明ゲスト委員、西村浩ゲスト委員 ハートビートプラン ワークビジョンズ 代表取締役 代表取締役	10月1日(火) 13:00-15:00
	—作る—		
第3回	居心地の良い歩きたくなる 公共空間デザイン	藤村委員、西村委員、ゲスト委員 豊田市役所	10月29日(火) 15:00-17:00
	—支える—		
第4回	ストリートを支える 環境づくり	小島委員、羽藤英二ゲスト委員 東京大学大学院 工学系研究科 教授	11月頃
	中間とりまとめ(たたき台)の 提示	—	年内
	中間とりまとめ公表 → ガイドライン発出へ		年度内